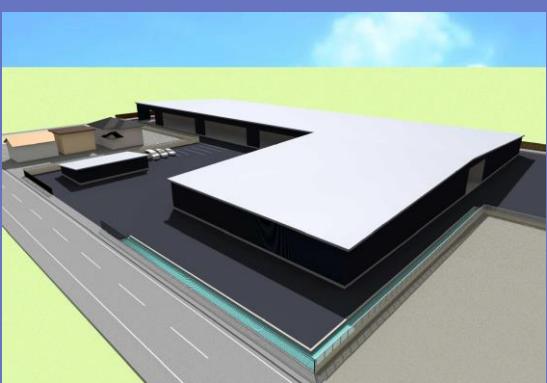




篠崎運送倉庫



埼玉県行田市新設倉庫 イメージ図

○本社所在地：埼玉県鴻巣市広田467-1

○事業概要：物流業

○常時使用する従業員：136名

（2025年6月時点）

○現在の売上高：31.3億円

（2025年6月期）

○法人番号：7030001062352

○Web：<https://shinozaki.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
山岸 優太

—木造定温倉庫で新たな物流プラットフォームを創る—

私たちは、物流を単なる保管・輸送の機能にとどめず、社会課題を解決する基盤産業へ進化させることを使命としています。気候変動や人手不足、老朽化する流通インフラといった課題に対し、木造定温倉庫を核とした低環境負荷・高効率な物流モデルを構築してきました。建設・運用コストを抑えながら品質を守るこの仕組みを、地域や関係機関と連携して展開し、持続可能な流通の仕組みを社会に実装していきます。私たちは、地域経済と産業の未来を支える物流プラットフォーマーとして成長し、売上高100億円規模の企業へ挑戦することをここに宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 木造定温倉庫を活用した事業展開により年率20%程度の成長を目指し、2031年に売上高100億円を実現し、目標売上高113億円達成を図る。
- 事業成長を通じて雇用創出・取引拡大を促し、地域産業の持続的発展に貢献する。

課題

- 事業拡大に対応できる人材採用や育成体制の構築
- 定温倉庫のニーズは増加している一方で、供給が追いついていない状況にある
- 保管・配送中心の物流から付加価値型物流サービスへの転換

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 独自技術による日本初の木造定温倉庫の関東圏への展開。
- 木造定温倉庫を活用した、環境配慮型かつ高付加価値な物流インフラの整備を進める。
- 米の保管において「検査・保管・物流を一体で提供するワンストップ型サービス」を構築し、取引量拡大を進める。
- 物流の将来を担う専門人材の育成と事業領域の拡大を図る。

実施体制

- 関東圏の定温保管需要の取り込みに向けた木造定温倉庫展開
- 検査・保管・物流の各機能を統括する体制を整備し、部門横断での効率的な運営と迅速な意思決定を可能とする。
- プロジェクトへのアサインや資格取得やスキル習得の支援制度による専門人材の育成